

平成 17 年度 秋期 システムアナリスト 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1 〔出題趣旨〕

企業の競争力を確保するためにコア事業に人材を集中するという方針の下、最近、情報システム部門の役割が大きく変わろうとしている。このような情報システム部門の役割の変化の中で、情報システム部門の体制や人材像が変わっており、人材の確保・育成も新しい観点からの方策が必要になっている。

本問は、情報システム部門の役割の変化とともに必要になる新たな体制・人材像に対応した人材の確保・育成計画を具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要な情報システム部門の人材の確保・育成計画の立案能力や経験、洞察力などを評価する。

* ----- *

問 2 〔出題趣旨〕

近年、オープン系のシステムが多数導入され、異なる IT 基盤上で稼動するシステムが増え、システム開発や運用のコストが増大する傾向にある。こうした状況から脱却するために、IT 基盤の整備計画を立案し、システム間連携方式や開発・運用を標準化する必要がある。

本問は、IT 基盤整備のねらいを明確にし、ビジネスの変化に対応する柔軟性や拡張性を確保した上で、ねらいどおりの効果を引き出せるような IT 基盤整備計画の立案上の考慮点について論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要なビジネス戦略を踏まえた IT 基盤の整備計画立案の能力や経験、洞察力などを評価する。

* ----- *

問 3 〔出題趣旨〕

経営環境の激変を背景に、中期経営計画が度々変更され、情報システム計画も大きな影響を受けている。本来、中期経営計画の変更に対応して情報システム計画は変更すべきであるが、変更できないことや、変更した場合に、投資計画を大幅に見直さなければならないことがある。

本問は、中期経営計画の遂行を最大限に支援し、情報システム化の投資対効果を最大化する、情報システム計画の見直し案の作成を具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、システムアナリストに必要な情報システム計画見直し案策定における調整・企画能力や経験、洞察力などを評価する。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。